

タウンミーティング議事録

1 日 時

令和 6 年 8 月 3 日（土）午前 1 0 時から 1 1 時 5 分まで

2 場 所

オンライン

3 参 加 者

井崎市長、須郷総合政策部長、伊原健康福祉部長、
梶まちづくり推進部長、影山秘書広報課長（司会）

4 来場者数

2 名

5 質疑回答

次のとおり

Q 市民

興味関心がある分野というのが、障害者福祉に関することになりまして、1つは、流山市の方に、福祉政策課というのがあるんですけども、重層的支援体制整備事業を実施するための課だと思います。重層的体制整備事業に関しては、これからの事業かなと思います。1つ気になっているのが、お隣の松戸市とか柏市とかだと、地域生活拠点というのがありまして、そこは24時間365日体制で、相談を受けたり、緊急のショートステイを受けたりとか、あとは体験の場ということで、そういった機会を作ったりとか、そういう機能があたりするんですけども、流山市の方にも、地域生活拠点があるのかなって思って、ホームページとかで検索はしているんですけども、どうも私が前に在籍していた、自立サポートネット流山の1事業所の地域生活支援センターがヒットするんですけども、そこ単体では、24時間365日の相談だったりとか、あとは緊急の受け入れだったりとか、体験という面において、そこはやれると思うんですけども、その拠点ということを見ると、不十分なのかなって感じがします。

実際流山市の方には、基幹の相談支援センターはありますけれども、その拠点というのがどうなっているのかなってというのが1つと、あとは、初石に住んでいますので、東口の完成予定が令和7年の3月と聞いているんですけども、実際その3月まで間に合うのかなというところと、あとは東口がとりあえず開発されたら、今度は西口の開発という話を聞いているんですけども、果たしてそれってやれるのかなっていうところ、確かに今西口すごいんですよ。物流センターができた関係で、バスがひっきりなしに通っていて、もし西口を開発するとしたらどうなるのかなって。東口はとりあえず防災に備えての公園になるって話は聞いているんです。だけど、西口はどうなるのかなってというのが1つわかんないところと、あとは今日と明日、江戸川台の東口でお祭りがあると思うんですけども、東口も今後どうなっていくのかなというところが、お隣の駅として気になるところであります。

あともう1つなんですけれども、東葛病院の脇あたりに広大な土地がありますよね。東葛病院があって道路を挟んで、はす向かいのあたり。開発されるという話は聞いているんですけど、どうなのかなってところと、あと流山市内を自転車で走り回っているんで、いわゆる物流センターがあってその裏あたり、あそこも広大な敷地がありますよね。あそこもなんか工事している感じがあったんで、今後どういうふうに関用されるのかなってというのが気に

なるところです。

私の質問は以上です。

A 市（市長）

まず、最後にいただいたご質問、物流センターの西側、県の千葉県道路松戸野田線の西側の、今後の流山市の計画についてご説明いたします。

まずインターの周辺、流山インターに入る前に東京の方から入っていきますと、右手も左手も水田になります。こちらについては民間の事業で、用地買収が終わっておりまして、土地を購入した会社のホームページの案内によりますと、日本最大級のウェーブプール、サーフィンができるプールができると。その周辺に、ドッグランとか、グランピングとか具体的なことはまだこれからだと思いますが、いわゆるアミューズメント施設、自分で体を動かして楽しむアミューズメント系の施設ができるというふうに伺っています。その周辺には、物流施設もさらにできるというふうに聞いていますが、メインは、そういうレクリエーション施設ができる計画で今動いています。完成年次は具体的にはまだ公表されていませんし、少し流動的だと思いますので、4・5年はかかるのではないかと思います。今はもう土地は全部購入されていますけど、まだまだいろんな手続きをとっていかないといけないので、4・5年先に、ウェーブプールができたときに楽しめるように、体幹を鍛えておいてください。

そして、その先の北側、利根運河までは水田が広がっており、こちらについても都市的な土地利用にして欲しいという声は聞いておりますが、今はどうこうということは考えておりません。

それからもう1つは、食料危機が起こりかねない。農業の農業従事者が高齢となり、農業を継ぐ方の数が圧倒的に少なくて、食糧危機を心配する専門家やよく勉強されている方が、そういう危機感を持ってらっしゃいますから、急いで1つの産業用地として使うのではなくて、万が一の場合に必要な土地の利用ができるように、ゆっくり段階的に開発をしていって、万が一の場合には、流山市民の食糧基地として、食糧危機が来ないことを望みますけれども、来た場合にはそういうことができるような土地の確保も必要であろうというふうに考えています。ただこれはもう大分先の話で、まずはインター周辺の開発が進むように、市としても、いろんな形で協力していきたいと考えています。

A 市（まちづくり推進部長）

ご質問ありがとうございます。

まず、最初に初石駅の関係なんですけども、先ほど令和7年の3月に東口ができるというお話だったんですけども、以前はそういうお話だったんですけども、現在、駅の改札が下にあると思うんですけども、あれを上に乗せて、それにあわせて自由通路を作る工事として、今、杭打ちの工事を行っているところです。その橋上駅舎と自由通路の完成が、令和7年の12月完成予定になっております。以前は、令和7年3月だったんですけども、大分前の段階で12月まで延ばすということで、議会とかでも、市長の方から報告もさせていただいています。

A 市（市長）

東武鉄道が建設の協議のときに、速やかにお金を出資して工事を進めること等が非常に難しくなったということもあります。そんな状況で、少し遅れますけども、令和7年12月末にはできるということで、今のところさらに遅れるような状況にはありません。

Q 市民

当初聞いた話だと去年の同じ時期あたりに意見交換会があったと思うんですけど、その時は令和6年の12月って聞いていたんです。それが伸びて、令和7年の3月になって、多分去年の夏の段階から橋上は作るって話があったと思うんです。当時は、今年の12月には完成するよって話だったんですけど、それが3月ってことになって、12月。もうずっと前から振り返って考えれば、要望があって動き出しているんで、動き出している分だけ前向きかなとは思っているんです。

A 市（まちづくり推進部長）

工事の方も順調に進んでいますので、橋上駅舎と自由通路については、令和7年12月に完成する予定で、今、鋭意工事を進めているところです。それに合わせまして、東口の工事が令和6年10月、今の橋上駅舎の工事をやるにあたって、東口の部分も工事ヤードになっていますので、それがあらかじめ終わった段階で、東口の整備に入っていきます。東口は令和6年10月に工事を発注して、工事の着手に入りまして、令和8年3月の完成を目指しま

す。その次に西口の流れになってくるんですけども、おっしゃられた通り物流施設のバスがかなり入ってきて、かなり混雑している状況は私も実際に確認をしております。橋上駅舎にするので、今の改札の部分がいらなくなるので、ロータリーについて東武鉄道の土地になっていますので、まずは暫定的にロータリーを整理できるような形を東武鉄道さんと協議を進めながら、西口の暫定供用を今目指しているところです。年度がいつってところまでは、まだはっきりはしていないんですけど、ただあの状況であるので、少しでも改善できるように、東武さんとは鋭意協議を進めているところです。

続きまして、江戸川台東口については、整備を進めていまして、エリアビジョンを策定し、東口の駅前広場、商店街通り、それとあわせまして、ジェトロの跡地という、今更地になっているところがあると思うんですけども、そちらの3つを核として、江戸川台東口の再整備を進めているところです。

それぞれ3つがバラバラになってしまうと、なかなかいいものができませんので、この3つを、同時に進めるような形で考えています。その中で、まず東口の駅前ロータリー、ご存じかと思うんですけども、あそこの東口のロータリーも結構手狭な状況なので、例えば乗用車が路駐をしていると、バスが回れないとか、バスが停まっていると乗用車が回れないとか、雨の日は特にです。さらには路線バスもあの中に入りきれないバスがあったり、あとは流通経済大柏の中学校と高校がありまして、バスの送迎なんかも来ている状況です。それなので、駅前のロータリーについては、必要な大きさを確保するために、地権者の方と、今協議を進めて、用地買収を進めて、そのあとに工事に入っていく流れになるんですけど、あそこの東口自体は使いながらの工事になってくるので、半分ずつ分けながらの工事になる予定で進めているので、完成予定については、令和10年を予定しております。

続きましてジェトロ跡地につきましては、昨年度から市民検討会というのを設けまして、市民の方、自治会の方、障害者団体、子育て団体とか、そういう方と一緒に議論を重ねまして、ジェトロ跡地について、どういう施設を入れるべきなのかということで、協議を進めて参りました。

6月の頭に、それがまとまりまして、そのジェトロ跡地にいれるものとして、基本構想というものができました。その中に入れるものにつきましては、駅前の東口の出たところに、出張所のビルの建物があると思うんですけども、基本的にはあそこの施設のものをそちらの方に移設をして、さらに北部包括地域支援センターがあって、それもそちらに集約をして、それだけだ

と行政だけの建物になってしまいますので、賑わいを作るということで、例えばカフェを入れたりなど、そういうのも市民の方から意見が出ていますので、ライブラリーカフェみたいなものを作ればなっというこで考えています。さらには色んな会議室だとか、そういうものを色々作っていきまして、賑わいを作っていきたいと。それも、ただ、そのまま市が建てて作るのではなくて、公民連携の委託を出しておりまして、例えば民間に建てていただいてっていう方法もありますし、そういうものを今模索しているところで

最後に商店街通りです。現在、あそこはもちろんシャッター商店街ではないので、ほとんどのところが営業はされています。ただ昼間に行くと、賑わいが少ないってような状況も見受けられますので、あそこの通りを商店街としてどうしたらいいんだっというこで、商店街さんとも話をしまして、できたら歩行者の方が中心となるような通りにして、少しでも賑わいが増えてくればいいのかなというこで、商店街と協議をしているところです。江戸川台については以上となります。

最後に、東葛病院のちょうど南側の木が生い茂っているところにつきましては、千葉県で土地区画整理事業というこで、運動公園周辺地区の区画整理をやっております。区画整理の地区内になっておりますので、現在は木が生い茂っていると思うんですけども、もちろん一部の樹林については保存する予定でおります。そのまま残すってわけにはいかないの、ある程度整備をした中で、残せるものは残していく。あとは基本的には宅地になります。ちょうど東葛病院のはす向かいのあたりは、住宅になります。今は、山になっていると思うんですけども、山を削って造成をして、家が建てられるような状況になって、もちろん道路を引いて、いずれは宅地開発です。その区画整理は、令和12年3月までの予定で進めています。緑地も残しながらの宅地となります。

A 市（市長）

初石駅の西口の件で補足をさせていただきます。

西口の駅前広場も、それから正面の駅前通り、それから右手に曲がる初石マインの前の通り、あの一帯、東武鉄道の土地なんです。

本来は、東武が自主的にやればいい話で、東急電鉄や小田急さんだったら自分でやると思います。ですけど、東武鉄道の場合は、流山市に対して一緒

にやりましょうということで、流山市として協力はしていきますけども、協力した上で、流山市民の税金をどんどんそこへつぎ込むことにならないようにシビアに協議をしていきたいというふうに思っています。以上です。

A 市（健康福祉部長）

地域生活支援拠点についてと重層について、健康福祉部長の私からお話させていただきます。よろしくお願いします。

まず1点目、お話をいただきました重層的支援体制整備事業、これについてはもうお見込みのとおりです。

福祉政策課が新設されて、この事業に重点的に当たらせる流れになっていまして、ご案内にありましたとおり、社会福祉協議会に10月1日から、委託をする予定で準備をしております。

そして、2点目、地域生活支援拠点についてなんですけれども、ご指摘いただいたとおり、検索をかけると中々わかりにくい状況かと思います。流山市の場合は、地域生活支援拠点の機能を集約した多機能拠点型ではなく、拠点を複数の機関が分担して担う面的整備型というふうにしています。ですので、検索をかけると見つかりにくいという状況にあるのかなと思います。その機能を複数の機関が分担して担っていくので、基幹相談支援センターと北部の地域委託相談支援事業を委託しています、西深井の地域生活支援センター「すみれ」と、東部の「まほろば」、南部の「ファーレ」を位置付けていて、相談支援と人材育成と地域の体制づくりを中心に取り組んでいるところです。

緊急時は障害者支援課と基幹相談支援センター、各委託相談支援事業所が連携して対応しているところですが、地域生活支援拠点等コーディネーターの配置、緊急時の受け入れ先の確保など、さらに整備を必要としていると思っていまして進めていきたいと考えています。現状としてはこのようになっています。

Q 市民

1つ目は南流山の南口の開発について伺いたいと思います。

続いて、流山市はすごい渋滞が、課題になっていると思うんですけど、そちらについてどういう対策をしていくのかというのも聞きたいです。あと、保育園はすごい力を入れている、送迎バスとかそういうサポートもしている

と思うんですけど、小学校、中学校、高校で、どういう対応とかサポートをしていただく予定かというのを知りたいです。

私は、外国人なので、日本に住み始めて少しずつ日本語喋れるようになっていと思うんですけども、日本語が喋れない外国の方も流山市に在住したり、今後在住するかもしれないので、市のホームページからも幾つかの資料を見に行こうとしたら英語版がなくて、実際に市役所とかに行っても、転入届とか出したときにも、いくつかの資料をいただくと思うんですけど、「英語版ありますか」って聞いたら「英語がないです」って言われて、市なのでそういうところで、英語に力を入れて、英語の資料とか作っていただけたら、日本語しゃべれない方とか日本語読めない方も、わかりやすく、助かるんじゃないかなっていう思いがありましたので、そちらについて何か予定とかありますかという確認です。

あとは、西平井のところから南流山に行く途中で、橋があると思うんですけど、東武バスはその橋を使わず、平和台を通過して、マミーマートの平和台1丁目からおおたかの森まで行っていると思うんですけど、その橋は、もともとどういう目的で作られて、どういう予定で使われているかというのを知りたいです。

最後は、南流山からおおたかの森に行く途中で、千葉警察のビルがあったと思うんですけど、その次に何か開発がされていたと思うんですけど、それはどういう施設の開発ですか。以上です。

A 市（市長）

西平井の流鉄を超える橋があります。下に流山電鉄が走っていますが、以前は、この橋の計画が、まず西平井も区画整理をして、新しくたくさんの方が住むというエリアでした。

ところが、宮園という地区から流鉄の上を越えて南流山駅にまっすぐ行く道が、橋が一本しかなかったのが、道路が大変渋滞をしていました。それを解決するために、西平井の新しいまちづくりの中で、橋も計画されました。そういう意味では渋滞が、宮園から南流山駅へまっすぐ行く道路は今でも時々混んでいますが、以前に比べると、混雑緩和にはなっています。

それから、私自身30年以上前アメリカにいたときに、交通計画、都市計画をやっていて、バスの計画もやっていましたけども、本当にバスというのはあるかないかで、市民の生活の利便性が全く変わってくるんですね。です

から必要なんですけども、ご存じのように、2024 年からトラック運転手とかバスの運転手の働き方を非常に厳しく、休憩時間をたくさん取るとか、長時間働き続けることができないような、働きたくても働けないような法律を、健康と安全のために、国は作ったんですね。そのために、たださえバスドライバーが足りなかったんですけども、もう今バスドライバーがいないために、バス路線をどんどん削減しています。バス路線を廃止したり、或いは減便をして、今まで 1 日に、例えば 20 往復あったところが 5 往復になってしまうとか、どんどん使えないバスシステムになってきているんです。

ただ、流山市は、それを緩和させるために、廃止が予定されたバス会社にお金を出して、続けてもらうようにもやってきたんですが、もう今や、お金の話じゃなくて、バスドライバーがいらないんだということで、次々と減便廃止されています。西平井のバスも十分通れる橋ですけど、今のところ東武バス、それから流山市内では京成バスの 2 社ありますが、新しい路線の計画は全くありません。とにかく運転手がいらないということで、今ある流山市内で走っている路線も、次々に廃線ないしは減便を、会社からそういう報告を受けて、市としても困っているところです。ですから、あの地域にバスが走る見込みが、今のところ立たないし、バス会社からもそういうことを検討しているという話は、残念ながら 1 つもありません。

それから、警察のはす向かいの開発ですけども、令和 6 年度末に、新しい消防署の庁舎ができます。今、流山市の中央消防署というのは、市役所から文化会館に行く県道がずっと野田の方に伸びていますが、その通りをまっすぐ行くと、三郷流山橋という新しい橋ができたその手前のところに、現在の消防庁舎があります。この消防庁舎が非常に老朽化しているのと、実は、あの辺が一番土地が低くて、大雨注意報が出ると、消防車や救急車を文化会館の駐車場の高台に移すということを長年やっているんですね。それをしなくてもいいように、今度は高台の入口のところに新しい中央消防署ができます。その方がおおたかの森地区の新しいまちにも近いし、流山市の地図でいうと中央になり、そして水の心配のない高台に新しい消防署ができます。

A 市（総合政策部長）

総合政策部長の須郷でございます。

英語版の資料ということで、ご提案いただいておりますけれども、実は市のホームページをはじめ、市民便利帳や、日常的で身近なもの、例えば、家庭ご

みの正しい分け方出し方、ごみ収集日のカレンダーですとか、英語版等を作成しております。先ほどお話あったように、転入届を出したときからということでございますので、その辺も、1つ1つ、英語版という形で、今後流山市の国際交流協会様のご協力をいただきながら、増やしていきたいと思っております。ホームページはすでにもう英語版ということで選択できるようになっておりますので、今1度確認いただいて、トップページのところに、すでに選択する画面がございますので、そこで確認いただければと思います。以上です。

Q 市民

追加なんですけど、流山市のガイドブックというのをいただいたんですけどそちらの英語版はありますか。

A 市（総合政策部長）

日常的な市民便利帳は英語版があるんですけども、こちらの方はございません。

A 市（市長）

流山市に外国人の方或いは外国人で日本に帰化した方で、子育て中の方々が流山市に最近どんどん転入をされていますので、英文の需要ということについては、研究していきます。もっと増やしていきたいと思います。

また、帰化した方や外国人で流山を選んで住んでいる方々が、国際交流協会というところで、いろいろな関わりがあるだけではなくて、その外国人同士で、いろいろなサークルを作って動き出しています。

あと南流山駅周辺の再整備については、おおたかの森地区と違って、南流山周辺は少し古い感じのエリアですけど、これは50年前に、武蔵野線ができたときに、南流山駅というのを作り、その当時、南流山駅周辺に区画整理をして、まちができて上がってきました。それから、つくばエクスプレスができたにもかかわらず、都市計画も実際の土地利用の状況もあまり変わってないんですね。そこで、令和6年2月に南流山をこういうふうに関発してくださいという指針を出しました。そして、7月1日から、その指針は、まず景観、見た感じが落ち着いた綺麗なまちになるような色々な規定、それから緑化をしていただく。もうまちの中に緑が、おおたかの森と違って少ないの

で、もっと緑をいろいろな形でお店の前にも増やしていただく。そして、ビルを都市計画上、容積建蔽というビルの大きさを決める規定があるんですが、これをもっとフルに使ってくださいと。そういうことをしてくださった場合には、固定資産税と都市計画税の支払う部分の同額を、流山市の方で援助しますから、協力して、まちを綺麗にリニューアルしてくださいという、地権者の方々やオーナーの方々に今、発信をしているところです。

ですから、流山市がガイドラインを作ったり、景観だとか緑化の色々な規定を作って、これに協力してくれた方に、経済的にインセンティブを与えるという仕組みで、これも期間限定で、令和10年度末、2028年度末までに、確認が取れた建物に対してインセンティブを与えますということで、待っていたら間に合わないの、今から地権者同士で話し合って、ビルの高層化、大型化、それからリニューアルをしていただくということでやっていきます。そうしますと、おおたかの森はどちらかというと大手のデベロッパーさんが作ったビルがどんとありますけども、もう少し小さなビルかもしれないけども、景観、それから黄色や赤の広告がもうあちこちに張り出すのではなくて、落ち着いた色と統一された景観、そして緑化、こういったことが整備されてきますので、例えば、約20年前のニューヨークのソーホーみたいな感じの、巨大なビルが並ぶのではなくて、比較的小さいけれども、1つ1つがリニューアルされて、綺麗な町並みに誘導していこうということで取り組んでいます。

令和10年度末が締め切りなので、これから4・5年のうちに、ある程度は変わるだろうと思っています。7月1日からスタートしたんですけど、今1件が工事に入って、3件が相談中ですので、これから相談件数はもう少し増えていって、4・5年すると、南流山駅周辺が、きれいに快適になると思います。

それから渋滞の件ですが、おおたかの森駅周辺の渋滞、それとも流山市内の各地の道路の渋滞でしょうか。

Q 市民

平日とかは流山市内混んでいると思うのでそちらについてです。

A 市（市長）

渋滞の原因の1つは、都市計画道路が全部完成していなくて、綺麗な4車

線の片側2車線の道路が途中で止まって、狭い道に入って、右曲がって左曲がって、また、次の都市計画道路に繋がるみたいなところが何ヶ所かあるので、これが全部計画通りに繋がると、渋滞の改善はしていくと思います。ボトルネックになっているところは、大体市として把握していますので、ほとんどの場合、まだ計画通り完成してないところがボトルネックになっていますので、2・3年ぐらいで、都市計画道路が完成しますので、もう少しお待ちください。

それから、保育園は、この15年ぐらいで、17園から104園まで増やして、送迎保育ステーションもあって、保育園はとても便利になったと思います。また、障害を持っているお子さんも希望すれば保育園、それから来年度からは幼稚園も入りやすくなるように今準備をしています。その子たちが今どんどん大きくなって小学校、やがて中学校に入ってくるわけですが、日本の国の仕組みとして、3年先までの推計をして、そしてそこで必要な増築する分とか、新築する分について、国から少しですけど補助金が出ます。

流山市もかつては3年先までを見ながら、増築や新築をして準備していたんですが、流山の場合はもうこの15年以上人口が急ピッチで増えていますので、例えば3カ年だけを見て、2階建てで増築をしてしまうと、次の3カ年でもっと子供が増えるということで、今度は校庭がなくなってしまうとか、2階で建てたのを4階で建てればよかったとかという反省が、2・3度ありました。

そんなことで、流山市は6年先まで見て、6年後の小学校1年生が何人になるかっていうところまで、6年前ってことは0歳児ですね。生まれた子供のところから、流山の子供の数がどうなっていくかっていうのを、小学校、中学校ごとに計算をしています。大体誤差が1%以内で、正確になっていて、これに基づいて、増築をしたり新築をしたりしてきましたけど、今年の4月に小学校2校新設、中学校1校が移転し新しくできました。これからは、増築はありますけど新築は予定しておりません。子供たちが保育園の場合は、待機児童といって、入れない場合は、「ごめんなさい。入れません。」と言って、ご家族に、お父さんお母さんたちに大変ご迷惑をおかけするんですが、小学校・中学校は義務教育ですから、入れないってことは絶対ないんですけども、ただ、落ち着いた環境なのか、子供たちが溢れかえっている環境になるのか、特に1クラスの人数が多くなってしまうというようなことはないように、きちんと計画的に対応していますので、そこはご心配ありませ

ん。それから日本では、学力状況調査というのが、全国的に文部科学省が行うんですが、流山はその学力状況調査の結果も大変良い結果が出ていますので、子供たちの学習レベルは高いと思います。

例えば、流山小学校は、今が一番多くなっていて、これからさらに増えていくという予測にはなっていないかと思います。お子さんが小学校に入るころには、今がピークだと思いますので、今よりは少し減ると思います。

Q 市民

小学校の話になったと思うんですけども、私の娘が、西初石小学校で、2年生で3クラスです。お隣の八木北小学校は、7クラスらしいんです。だけど、先生が足りないということで、7クラスあったんだけど、6クラスにして、結構ぎゅうぎゅうで、同じ2年生なんですけど、やっているみたいな話があって、その地域によって、クラスの数っていうのが違うなっていうのがあって、それはしょうがないのかなと僕思っているんです。やっぱり人口が集まるところには集まるし、集まりにくいところはあるでしょうし、そこはぎゃあぎゃあ騒ぐつもりはありません。ただ今後、西初石も結構微妙な場所で、おおぐろに吸収される可能性もあるのではないかと。

A 市（市長）

おおぐろもどんどん増えていますし、西初石が吸収されるなんて話はまずないと思います。そして、おおぐろは、西初石2丁目の方は学区ではありません。それからあと各クラスが、流山市の場合は、文科省の関係で最大35人でやっているんですが、一時、小山小学校が、教室が例えば11クラスないといけないのに10クラスしか用意ができない。そうすると、最大の35人を超えて、36人とか7人になることがあるんですね。そのときには、担任サポート教員という方を1人、職員は全部県教育委員会、県の予算でやっているんですが、35人を、一時的に超える場合は、流山市の方で、担任サポート教員を採用して、1つのクラスに2人、県で雇われている先生の他に、市で雇った先生が入ります。聞くと、33人や34人を1人で見るとは、35人を超えて36人・37人を2人で見の方が楽なので、先生たちとしては、35人学級を死守して1人で見るとは、1人2人超えるぐらいだったら、2人でやりたいっていう、法律的にも積極的に進める話ではなく、やむを得ないときにやっているものですが、先生たちの評判としては、

ちょっと多くても2人で見の方が、質が高くなるというふうに言われております。だからといって、36人以上の学級を流山市は積極的にするつもりはありません。

また、増築では、常盤松中学校が小山小学校の一部と八木北小学校の子供たちが来ますので、常盤松中学校の子供たちがこれから急増していきます。増築が令和6年度から令和7年度までに増築の計画があって、常盤松中学校は、1・2年の間に増築していくところです。※1

以上

※1 追加情報：おおぐろの森小学校増築は、令和7年度から令和8年度に工事する予定です。